

〔使用説明書〕

髪にやさしい感触のハイトリートメントタイプ

Kanebo

ファッションカラー

早染めクリーム おしゃれな白髪染め

ご使用前に必ず最後までよく読んで正しくお使いください。
ヘアカラーはまれに重篤なアレルギー反応をおこすことがあります。
ご使用の際には毎回必ず皮膚アレルギー試験（パッチテスト）
を実施してください。



注意!

今までにヘアカラーでかぶれたことのある方は、
絶対に使用しないでください。

- 今までにヘアカラーでかぶれたことのある方
- パッチテストの結果、異常があった方

下記までご相談ください。

株式会社カネボウ化粧品
商品に関するお問合せや美容相談は
☎ 0120-518-520

2 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の手順

パッチテストは、ヘアカラーにかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化などにより突然かぶれる場合もありますので、**毎回必ず、染毛の48時間前にパッチテストを行ってください。**

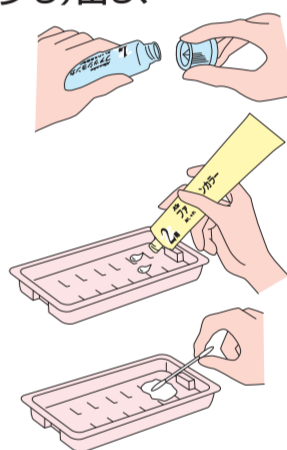
1. 次のものを準備します。

- ファッションカラー(クリーム)1剤
 - ファッションカラー(クリーム)2剤
 - トレー
 - 綿棒
 - ティッシュペーパー
- 綿棒 } ご自分で
ティッシュペーパー } ご用意ください。



2. トレーに1剤と2剤を同量(ごく少し)出し、綿棒で混ぜ合わせます。

1剤のキャップをはずし、キャップ頭部の突起で1剤のチューブの口に穴を開けます。テスト剤を出した後は、1剤・2剤のキャップを間違えないようにしっかりと閉めて、染毛まで保管してください。(1剤のキャップ…グリーン 2剤のキャップ…イエロー)



3. テスト剤を腕の内側に10円硬貨大にうすくぬり、自然に乾燥させます。

ぬった部分が30分位しても乾かない場合は、ティッシュペーパー等で軽く拭き取ってください。



4. そのまま触れずに48時間放置します。(時間を必ず守ってください)

*パッチテストで正確な結果を得るために、48時間内は、ぬった部分をぬらしたり、こすったり、シールを貼ったりしないでください。なるべく入浴やシャワーをひかえてください。やむなくシャワー等する場合は、ぬった部分をぬらさないようにご注意ください。

5. テスト部位の観察を行います。(混合クリーム塗布後30分位および48時間後の2回)

塗布部に発疹、発赤、かゆみ、水ほう、刺激などの皮膚の異常があった場合には、手などでこすらないで直ちに洗い落とし、染毛しないでください。途中48時間以前であっても、同様の皮膚の異常を感じた場合には、直ちにテストを中止し、テスト薬剤を洗い落としとして染毛しないでください。

*パッチテストの結果、異常があった場合は、商品に関するお問合せ先までご相談ください。

6. 48時間経過後、異常がなければ染毛してください。

*パッチテストをした部分はテスト後や入浴時によく洗ってください。

ご使用になる前に必ず最後までこの使用説明書をよくお読みください。

ご使用方法を誤ると、髪を傷めたり、思ったような効果を得られないことや皮膚障害などを起こすこともありますので、お使いになる前に必ず最後までこの使用説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。

1 使用上の注意 ●ご使用前に必ず最後までお読みください。

① 次の方は使用しないでください。

- ① 今までに本品に限らずヘアカラーでかぶれたことのある方
- ② 染毛中または直後に、じんま疹(かゆみ、発疹、発赤)あるいは気分の悪さ(息苦しさ・めまい等)を経験したことのある方
- ③ 皮膚アレルギー試験(パッチテスト)の結果、皮膚に異常を感じた方
- ④ 頭皮あるいは皮膚が過敏な状態になっている方(病中、病後の回復期、生理時、妊娠中等)
- ⑤ 頭、顔、首筋に、はれもの、傷、皮膚病がある方
- ⑥ 腎臓病、血液疾患等の既往症がある方
- ⑦ 体調不良の症状が持続する方(微熱、倦怠感、動悸、息切れ、紫斑、出血しやすい、月経等の出血が止まりにくい等)

② 使用の前のご注意

① 染毛の2日前(48時間前)には右記の手順に従って毎回必ず皮膚アレルギー試験(パッチテスト)を行ってください。パッチテストは、染毛剤にかぶれる体質であるかどうかを調べるテストです。テスト部位の観察はテスト剤塗布後30

分くらいおよび48時間後の2回行ないます。過去に何回も異常なく染毛していた方でも、体質の変化によりかぶれるようになる場合もありますので、毎回必ず行なってください。

- ② 頭髮以外には使用しないでください。本品は頭髮用の製品です。
- ③ 眉毛、まつ毛に使用しないでください。薬剤が目に入るおそれがあります。
- ④ 顔そり直後は染毛しないでください。皮膚が細かく傷ついているおそれがあり、刺激を受けやすくなります。
- ⑤ 染毛の前後1週間はパーマントウェーブをかけないでください。髪を傷めたり、色落ちしたりすることがあります。

③ 使用時のご注意

- ① 薬剤は使用直前に混合し、直ちに使用してください。
- ② 換気の良いところで使用してください。
- ③ 必ず添付の手袋を着用してください。
- ④ 染毛中に入浴したり、染める前に髪をぬらしたりしないでください。汗やすすく等で薬剤が目に入るおそれがあります。
- ⑤ 薬剤が顔、首筋等につかないようにしてください。

薬剤がついた時は、直ちに水で洗い落としてください。

⑥ 薬剤や洗髪時の洗い液が目に入らないようにしてください。目に入ると激しい痛みを生じたり、場合によっては目が損傷(角膜の炎症等)を受けたりすることがあります。万一、目に入った時は絶対にこすらないで、直ちに水またはぬるま湯で15分以上よく洗い流し、すぐに眼科医の診療を受けてください。

⑦ 染毛中に発疹、発赤、はれ、かゆみ、強い刺激等の皮膚の異常やじんま疹、息苦しさ、めまい等の症状が現れた場合は、直ちに薬剤をよく洗い流し、医師の診療を受けてください。

⑧ 染毛後に何らかの異常を感じた場合には、必ず医師の診療を受けてください。

④ 取り扱い上のご注意

① 混合した薬剤の残りは効果がなくなります。必ず洗い流して捨ててください。

⑤ 保管上のご注意

- ① 幼児の手の届かない所に保管してください。誤って飲んだり食べたりすると危険です。
- ② 高温や直射日光をさけて保管してください。

●守っていただきたいこと

- ① 幼児には使用しないでください。
- ② 認知症の方などの誤食等を防ぐため、置き場所にご注意ください。
- ③ 肌に異常が生じていないかよく注意して使用してください。肌に合わない時、使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激、色抜け(白斑等)や黒ずみ等の異常が出た時、また直射日光があたって同様の異常が出た時は使用を中止し、皮膚科医へ相談してください。使い続ける時症状が悪化することがあります。

●その他のご注意

- ① 公衆浴場などでのご使用は汚れなどで周囲の方の迷惑になりますので、ご遠慮ください。
- ② 次のような場合は、衣類、帽子、枕カバーなどに色移りすることがありますのでご注意ください。
 - 髪がぬれているとき。(運動などで多量の汗をかいたとき、雨にぬれたとき、洗髪後など。)
 - 育毛剤、ヘアリキッド、ヘアフォームなどの頭髪用品を多量に使用したとき。
- ③ 薬剤が衣服、床、じゅうたん、壁などに付着すると落ちませんので、充分注意してください。

3 使用前の準備

1. 染毛前の髪のお手入れ

- ◆シャンプーは染毛する前日までに地肌を傷つけないようにすませておいてください。やむなく当日シャンプーをする場合は髪をよく乾かしてから薬剤をつけてください。髪がぬれていると薬剤がたれて目に入ったり、思うような効果がえられないことがあります。
- ◆次のような場合そのまま染毛すると髪を傷めたり、思うような効果がえられないことがあります。
 - ・髪の汚れがひどい場合や、整髪料を多めに付けているとき
 - ・カラスプレー、一時染毛着色料、金属粉などが髪についているとき
 - ・ヘアカラーやヘアマニキュアなどで黒めに染めてある髪

2. 染毛に必要なものの準備



3. ご使用前の身じたく

- 混合した薬剤がお肌についても落ちやすくするために油性のクリームをフェイスライン、えり足、耳につけます。
- 手袋をはめ(つるつるの面が手のひら側)、はずれないように手首を輪ゴムでとめます。
- 汚れてもさしつかえないケープかタオルで衣服をおおいます。
- 万一のため、汚れてもさしつかえない衣服を着てください。

その他

- ◆メガネ、コンタクトレンズ、イヤリング、ピアス、指輪、ネックレス、プレスレット、ヘアピンなどははずしてください。
- ◆床などが汚れないように新聞紙などを敷きます。



* 暗めの色に染めてある髪は、1度でその髪色より明るく染め変えることは困難です。違う色番号、色名の商品と混合しないでください。違う2つの色を混ぜても、その色にはなりません。

必ず裏面もお読みください。▶

使用手順 ショートヘア全体使用で約1回分です。

ご使用前に、★毎回必ず裏面の要領でパッチテストを行ってください。
★必ず裏面の「使用前の準備」をよくお読みください。

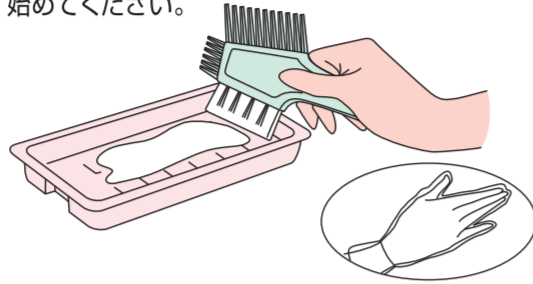
使い方1 混合クリームをつくります。

混合クリームを使用する直前につくります。

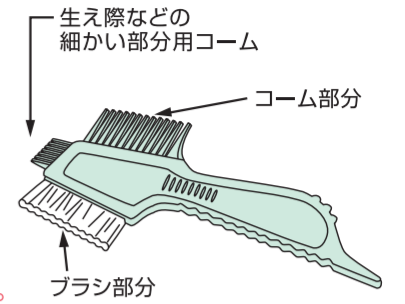
- ①トレーに1剤と2剤を同量出します。
トレーについている目盛り線を目安にしてください。
*全量でショートヘア約1回分です。



- ②コームブラシのブラシ部分でよく混ぜ合わせます。
混合クリームができたら手袋をはめ、手袋がずれないように手首を輪ゴムでとめ、すぐにつけ始めてください。



- ◆手袋を必ずご使用ください。
- ◆混合クリームをつくったら、すぐにつけ始めてください。
- ◆混合クリームはつくってから40分以上すると効果がありません。
- ◆残った混合クリームは再使用できません。
- ◆薬剤の残っているチューブは1剤,2剤のキャップを間違えないようにしっかりと閉めて保管してください。(1剤のキャップ…グリーン 2剤のキャップ…イエロー)
- ◆分割使用される場合は、ご使用後のコームブラシ、トレー、手袋などはよく洗って保管してください。
- ◆分割使用される場合、1剤のクリームの先端が変色していることがありますが染毛効果に影響はありません。また、チューブの最後に黒いクリームが出た場合も同様です。
- ◆混合したクリームの色が紫色になるものがありますが染め上がりには影響はありません。



使い方2 混合クリームを髪につけます。

全体使用方法 15分程度で髪全体につけて、なじませます。

*万一、混合クリームがお肌についたときは水に湿らせたティッシュペーパーですぐに拭き取ってください。

- ①生え際や白髪の目立つ部分からつけます。
コームブラシの柄の先で髪を分け、混合クリームをブラシ部分にとり髪の根元にたっぷりとムラなくつけます。



- ②毛先までのばします。
さらに、根元から毛先まで混合クリームをおぎないながらつけ、コームで伸ばし、よくなじませます。



- ③次の部分を分けとりします。
次の部分を2~3cm幅で分けとり①②を繰り返し、髪全体によくなじませます。
*白髪の多い部分は、混合クリームを多めに付けてください。



部分使用方法 15分程度で髪につけて、なじませます。

*万一、混合クリームがお肌についたときは水に湿らせたティッシュペーパーですぐに拭き取ってください。

- ①染めたい部分の白髪につけます。
コームブラシの柄の先で髪を分け、混合クリームをブラシ部分にとり髪の根元にたっぷりとムラなくつけます。



- ②毛先までのばします。
さらに根元から毛先まで混合クリームをおぎないながらつけ、コームで伸ばし、よくなじませます。



ここまでで15分程度が目安です

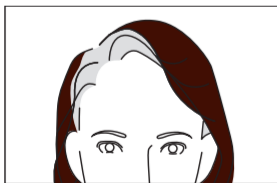
10分~15分間放置します。
*太くて硬い髪などの染まりにくい髪質の方は5~10分くらい長めにすることをおすすめします。



- ◆仕上がりは髪質・元の髪色・白髪の量・室温・放置時間などにより異なります。太くてかたい髪の方・白髪の量の多い方は明るめに仕上がり、細くて柔らかい髪の方・白髪の量の少ない方は暗めに仕上がります。
- ◆ティッシュペーパーなどで髪の一部の混合クリームを拭き取り、染まり具合をご確認ください。
- ◆つけ始めてから40分以上の放置は髪を傷めますのでおやめください。
- ◆ヘアカラーやヘアマニキュアなどで黒めに染めてある髪は一度で明るく染め変えることは困難です。

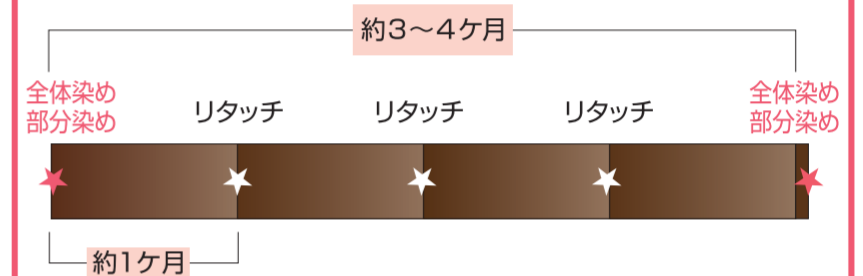
リタッチの方法 染毛後、伸びてきた根元の髪の部分を染めて、白髪を目立たなくする方法です。

*万一、混合クリームがお肌についたときは水に湿らせたティッシュペーパーですぐに拭き取ってください。



- ①新しく生えてきた部分につけます。
新しく生えてきた白髪の部分に混合クリームをたっぷりムラなくつけます。
- ②10分間程度放置します。
新しく生えてきた白髪の部分に混合クリームがたっぷりついたかを確認し10分間程度放置します。
- ③染めてある部分になじませます。
白髪の部分につけた混合クリームをコーム部分で、すでに染めてある部分に伸ばし、よくなじませます。
- ④5分間程度放置します。

染める時期のめやす



◇仕上がりは髪質・元の髪色・白髪の量・室温・放置時間などにより異なります。太くてかたい髪の方は染まりにくく、細くて柔らかい髪の方は染まりやすいです。また、白髪の量の多い方は明るめの色の場合、染まりにくく感じられます。

◇暗めの色に染めてある髪は、1度でその髪色より明るく染め変えることは困難です。

◇髪は1ヶ月で約1cm伸びます。いつも美しい色を保つためには約1ヶ月に1度リタッチすることをおすすめします。

◇髪全体の色をムラなく保つためには、約3~4ヶ月に1度髪全体を染めることをおすすめします。

医薬部外品

株式会社カネボウ化粧品

〒103-8210 東京都中央区日本橋茅場町1-14-10

商品に関するお問合せや美容相談は

☎ 0120-518-520

使い方3 混合クリームを洗い流し、シャンプー・リンスします。

- ①手袋をしたまま、ヘアカラーの色がなくなるまでぬるま湯でよくすすぎます。

*すすぎ湯が目に入らないように注意してください。



- ②シャンプーで丁寧に洗い、リンスやトリートメントで仕上げ、よく乾かします。

*生え際や耳などについて落ちにくい混合クリームは洗顔料で洗い落とします。
*汚れても構わないタオルでふいてください。
*髪が濡れていたり、よく洗髪されていないと、衣類や枕カバー等に色移りすることがあります。

